

法学検定試験委員会

主催 ●

財団法人  
日弁連法務研究財団  
社団法人  
商事法務研究会

■Test of Legal Proficiency■

# 法学検定試験

## 4級・3級

### 2004年 受験要項

出願受付期間：9月6日(月)～10月12日(火)

願書提出締切：10月13日(水) 消印有効

受験料(税込み)：4級 4,200円

3級 6,300円

※4級・3級の併願も可能です。  
願書は各級1枚ずつ必要です。

※本年度の2級・法学既修者試験は終了しました。

# 2004年11月14日(日)実施

# 法学検定試験の概要

## 「法学検定試験」とは

「法学検定試験」は、財団法人日弁連法務研究財団と社団法人商事法務研究会が主催し、法学検定試験委員会が実施している、法学に関する学力水準を客観的に評価する、わが国唯一の全国規模の検定試験です。

法的知識・能力をもった人材であることを証明する「法学検定試験」を、入社・配属時等の参考資料として採用しようという有力企業・団体が増えつつあります。また、2級・法学既修者試験は、本年4月より開設された法科大学院の入学者選抜時の資料としても多数の大学で利用されました。

## 法学検定試験委員会とその組織

財団法人日弁連法務研究財団と社団法人商事法務研究会は、法学に関する学力水準を客観的に評価するための法学検定試験を共同で実施するため、その企画・実施の機関として法学検定試験委員会を設置し、その事務局を社団法人商事法務研究会内に置いています。

### 主催団体

#### ■財団法人 日弁連法務研究財団(1998年設立)

日本弁護士連合会が中心となって設立された財団法人で、一段と複雑・多様化、高度化、国際化しつつある法律問題に対応すべく、弁護士、公認会計士、税理士、弁理士、司法書士から企業の法務担当者までの広範な会員をもって構成され、法律実務の研修、法および司法制度の研究、法情報の収集と提供を通じて社会の発展に貢献することを目的としています。

#### ■社団法人 商事法務研究会(1955年設立)

経済人に必要な企業経営に直接関連する法律実務について、官・民・学による実証的な調査研究を行い、企業をとりまく諸法の適正な運営と経済秩序の公正な維持に寄与することを目的として設立された社団法人で、「旬刊商事法務」を発行しています。

### 法学検定試験委員会

委員長	新 堂 幸 司	財団法人日弁連法務研究財団理事長・東京大学名誉教授
副委員長	川 島 一 郎	社団法人商事法務研究会会長・元東京高等裁判所長官
委員	大 谷 實	学校法人同志社総長
委員	奥 島 孝 康	早稲田大学学事顧問・教授
委員	川 井 健	一橋大学名誉教授
委員	河 本 一 郎	神戸大学名誉教授
委員	佐 藤 幸 治	近畿大学教授・京都大学名誉教授
委員	塩 野 宏	東亜大学教授・東京大学名誉教授
委員	鈴 木 正 裕	甲南大学教授・元神戸大学学長
委員	鈴 木 祿 彌	東北大学名誉教授
委員	松 尾 浩 也	東京大学名誉教授

# 法学検定試験5つの特徴

## 1. 法学に関するわが国唯一の検定試験

全国規模で実施され、毎年、法学部在学・出身か否かを問わず、多くの学生や社会人等がチャレンジされています。

## 2. 学習レベルにあった法的知識・能力が身につく(4級・3級)

各科目の重要論点を網羅的にとりあげている『法学検定試験問題集』(商事法務刊・下記広告もご覧下さい)の範囲内で出題されますので、問題集に沿って学習することにより、無理なく各科目全般に関する知識・能力が身につきます。

## 3. レベル・進路にあわせ級・コースを選択できる(4級・3級・2級・法学既修者試験)

4級は、「法学入門」「憲法」「民法」「刑法」といった基本法についての基礎的知識・能力を測る試験ですので、日常の学習のまとめや目安として活用できます。

3級は、「法学一般」「民法」の共通科目に加えて、将来の進路等に応じて4つのコース(一般・司法・行政・企業)から選択でき、基本的な条文の解釈や重要判例の理解度を測れます。各種資格試験や採用試験の腕試しとして、さらには法律学の知識・能力の到達度測定手段として利用できます。

2級は、3級と同様、4つのコースを設定していますが、大学における法学教育を修了したことを前提に、企業や官公署等において法務業務を担当しうるだけの一定水準以上の体系的な法学の実力を証明する試験として、相当高度なレベルとなっています。

法学既修者試験は、法科大学院の2年コース(既修者コース)出願の際に、受験者が各校に対して自分が法学既修者であることを証明するための資料提供を目的とするものです。法学既修者認定の実施方法・判断等の詳細は各校に委ねられていますが、本年は実に80%の法科大学院において、この試験のスコアが何らかのかたちで利用されました。

## 4. 就職・採用試験の場で威力を発揮

大学受験時の偏差値ではなく、大学で何を学んだかを客観的に証明するツールとして、各企業や団体等の就職・採用試験の場で威力を発揮します。

## 5. 法学界最高水準の陣容でバックアップ

法学検定試験委員会は、法学の各専門分野においてわが国を代表する研究者によって組織されています。また本検定試験には全国の法学研究者からその趣意にご賛同いただき、さまざまなご意見・ご指導・ご協力を得ています。

# ………2004年法学検定試験4級・3級実施要項………

## 各級の試験科目・試験時間

### 4級(4科目・合計60問)

科 目	試験時間
法学入門 憲法 民法 刑法	10:00~12:00

### 3級(各コースとも4科目・合計75問)

4コースの中から1コースのみを選択。

コース/科目	共通科目	指定科目	試験時間
一般コース	法学一般 民法	憲法 刑法	14:00~16:30
司法コース	法学一般 民法	刑法 ※民事訴訟法/刑事訴訟法	
行政コース	法学一般 民法	憲法 行政法	
企業コース	法学一般 民法	商法 ※民事訴訟法/労働法	

※いずれかを選択。

## 出願資格

「法学検定試験」はどなたでも出願することができます。受験資格はいっさい問いません。

## 出願の方法

出願の方法には、「個人申込」「団体申込」「グループ申込」の3種類があります。

### 〈個人申込〉

受験者個人で受験申込手続をし、出願する方法。  
全国10地区に設置する「公開会場」での受験となります(受験者は受験地区を選択)。

### 〈団体申込〉…大学・企業単位で!

大学や企業・団体等の「申込責任者」を通して受験申込手続をし、当該申込責任者が「法学検定試験委員会事務局」に一括して出願する方法。

当該団体と法学検定試験委員会が協議のうえ指定する「団体会場」での受験となります。多くの場合、団体受験の申込みをした「大学」が会場となります。

受験者個別に試験結果をお送りするほか、「申込責任者」宛に団体成績・団体受験者の成績一覧をお送りします(成績一覧は各受験者による事前の承諾が必要となります)。

**New!!**

### 〈グループ申込(10名以上)〉…ゼミ・仲間同士で!

各級10名以上(3級・4級で人数を合算することは不可)のグループで受験する場合、「グループ責任者」を通して受験申込手続をし、当該グループ責任者が「法学検定試験委員会事務局」に一括して出願する方法。

全国10地区に設置する「公開会場」での受験となります(グループ責任者が受験地区を選択)。

受験者個別に試験結果をお送りするほか、「グループ責任者」宛にグループ成績・グループ受験者の成績一覧をお送りします(成績一覧は各受験者による事前の承諾が必要となります)。

※「グループ責任者」は受験者以外でも可能です(ゼミの担当教員等)。

## 申込方法

出願方法	会場	申込方法	受験料支払方法	申込方法・期間,受験料支払方法の詳細
個人申込	公開会場	願書郵送	特約書店 銀行	本要項(6頁)の「出願から成績通知までのフロー」参照。
		インターネット	カード決済 コンビニ決済	
		セブンイレブン各店 設置のマルチコピー	セブンイレブン 店頭	
団体申込	団体会場	受験者:各団体にお問い合わせ下さい。 申込責任者:法学検定試験委員会事務局にお申し出下さい。別途申込書類を郵送いたします。		
グループ申込	公開会場	願書郵送(責任者 による一括郵送)	銀行	日弁連法務研究財団HP ( <a href="http://www.jlf.or.jp">http://www.jlf.or.jp</a> )参照。

※申込期間は、申込方法により異なりますのでご注意ください。

## 出題形式・解答方式

多肢択一形式。解答方式はマーク・シート方式です。そのため、筆記用具としてHBの黒鉛筆またはシャープペンシルと消しゴムが必要になります。

## 合否判定

4級・3級試験の合否判定は法学検定試験委員会が設置する「合否判定委員会」が行います。

## 成績通知書の送付

受験者全員に「成績通知書」、合格者には「合格証書」をお送りします。

なお、試験結果に関する個別の照会にはいっさい応じられません。

## 試験会場

### 〈公開会場〉

札幌、仙台、東京(23区内および東京都下[東京西部]を含む)、名古屋、京都、大阪、岡山、松山、福岡、沖縄の全国10地区で実施します。

なお、具体的な試験会場は受験者個別に通知します(東京地区は複数の会場で実施しますが、必ずしもご希望の会場が指定されるとは限りません)。

### 〈団体会場〉

各団体と法学検定試験委員会が協議のうえ指定した会場で実施します。

### ●個人情報の取扱い●

1. 受験者の個人情報は、受験者の承諾なく第三者に開示することはありません。
2. 個人が特定できないように統計処理したデータは、各種研究・調査の資料として利用することがあります。

## 個人申込の場合

● 出願書類配布開始  
(2004年9月)

● 出願書類の入手

● 出願受付開始  
(2004年9月6日)

● 出願受付終了  
(2004年10月12日)

● 願書提出締切  
(2004年10月13日当日消印有効)

● 受験票の交付  
(2004年11月4日頃発送)

### ■出願書類(願書・専用封筒)の入手方法

#### ①大学生協購買部・主要書店(特約書店等)からの入手

9月上旬より、特約書店等で無料配布しています。

#### ②ウェブサイトからの出願書類の請求

9月上旬から10月3日までは、ウェブサイト (<http://www.jlf.or.jp>) から出願書類の請求ができます。

### ■申込みの方法

#### ①郵送での申込み

##### 〈受験料を特約書店等へ支払う場合〉

特約書店等で受験料を支払い(10月12日受付終了)、特約書店等発行の「書店払込証」と「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送して下さい(願書記載の「整理番号」を控えておいて下さい・10月13日消印有効)。

##### 〈受験料を指定口座へ振り込む場合〉

下記の銀行口座に受験料を振り込み(ATM可・インターネットバンキング不可)、「振込金額」と「振込人氏名」が明記されている「利用明細」または「振込証明書」のいずれかと「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送して下さい(10月13日消印有効)。

〈受験料振込先〉	みずほ銀行 銀座支店 (普通)2275905 口座名 法学検定試験委員会事務局
----------	--

郵送による申込みの際、願書等は消印有効日までに投函して下さい。消印有効日以降の消印のものは無効となります。その場合、受験料は返却されません。郵送にあたっては「専用封筒」に入れて郵送して下さい。

#### ②ウェブサイト、セブンイレブン(マルチコピー)からの申込み

9月6日から10月13日までは、ウェブサイト (<http://www.jlf.or.jp>) の出願専用サイトまたは全国のセブンイレブン各店のマルチコピーから直接、受験の申込みができます(締切日にご注意下さい)。

ウェブサイト、セブンイレブンから直接、受験を申し込まれた場合は、願書の郵送は不要です。

10月 5日(火)	ウェブサイトからの申込み(コンビニ決済)・締切
10月13日(水)	ウェブサイトからの申込み(カード決済)・締切
10月13日(水)	セブンイレブンマルチコピーからの申込み・締切

### ■受験票の到着・写真の貼付

受験票は願書に記載された住所宛に、直接受験者に発送します。試験日より5日前までに受験票が到着しない場合には法学検定試験委員会事務局までご連絡下さい(願書に記載されている「整理番号」でお問い合わせ下さい)。

受験票には写真貼付欄が2カ所ありますので、受験票を入手したら写真を2枚ご自分で貼付して下さい。写真の大きさは縦4cm×横3cmで6ヵ月以内に写した上半身脱帽、正面の証明写真(カラー・モノクロ共に可)に限ります。写真のコピー、プリクラ、サンダラス着用、集合写真は認められません。試験当日に写真票は回収します。

●試験当日  
(2004年11月14日)

■受験票の持参

受験票(2カ所の写真貼付欄に写真貼付のこ)は当日必ず会場に持参して下さい。

●試験結果通知  
(2004年12月20日頃発送)

■成績表の発送

成績表は、願書に記載された住所宛に発送します。

◎受験料を特約書店や銀行に支払いまたは振り込まれても、願書等が試験委員会事務局まで到着し、正式受理されない場合(願書の郵送忘れ等)、申込みは無効となります。この場合、受験料は返却されず、次回受験へ振り替えることもできません。

◎申込者の都合で受験を取り止めた場合、受験料の返却または次回受験への振り替えは認められません。

## .....試験当日の注意事項.....

試験会場には申込手続をした受験者だけが入場できます。

### ◎集合時間

試験会場へは試験開始 60 分前から入場できます。試験開始 15 分前から試験に関する説明を行いますので、集合時間(4級:9時40分, 3級:13時40分)までに指定された座席に必ず着席して下さい。試験開始時間に遅れた場合、原則として受験をお断りします。

### ◎携帯品

1. 受験票: 2カ所の写真貼付欄に写真貼付のこ。受験票を忘れた場合、受験をお断りすることがあります。受験票に写真がない場合、成績証明書を発行できません。
2. 筆記用具: HBの鉛筆またはシャープペンシル, 消しゴム。  
ボールペン, マーカー, 耳せん等の補助具はいっさい使用できません。
3. 腕時計: 携帯電話やポケットベル等を時計として使用することはできません。

### ◎注意

1. 携帯電話・ポケットベル等の通信機器は、必ず電源を切って下さい。また、デジタル時計等のアラーム音は試験の妨げになりますので解除して下さい。
2. 当日の詳細なスケジュールは受験票に記載します。
3. 試験時間中のトイレ退出等を一部制限することがあります。
4. 試験監督員の許可なく途中退席等を行った場合は不正行為とみなし、試験教室への再入室をお断りすることがあります。
5. 試験を途中で放棄する場合であっても解答用紙は回収します。

### ◎不正行為

以下の行為を行った場合は、失格とします。その場合、答案の採点はしませんが、結果の報告も行いません。

1. 試験中に、他人に援助を与えたり、他人から受けた場合
2. 他人に代わって試験を受けた場合
3. 試験監督員の指示に従わなかった場合
4. その他不正行為を行った場合

# .....試験結果をすべての受験者にお送りします.....

## 受験者宛

直接郵送にて通知

〇〇年〇月〇日(日)実施 法学検定試験成績通知書  
 合否判定 3級 一般コース 合格

試験成績表

科目	得点	平均点	偏差値	配点
法学一般	14	9.9	64	15
民法	17	10.9	64	20
憲法	18	11.6	67	20
刑法	17	11.6	64	20
合計	66	43.2	67	75

今回の合格点 〇点以上  
 総合順位 120位 (3589名中)



## 団体・グループ受験申込責任者宛

受験者全体の団体・グループ成績表を送付

団体コード: 3級 平成〇年度  
 法学検定試験 解答状況表

団体・グループ成績表A

コース	合計	合格	不合格	欠席
3級一般コース	20	12	8	
3級司法コース	16	10	6	
3級行政コース	8	4	4	
3級企業コース	6	4		2
合計	50	30	18	2

団体・グループ成績表B (一般コース)

点数	人数	累計	割合
75点			
74点			
56点			
55点	1	3	15%
54点			
53点			
52点	1	4	20%
51点	1	5	25%
50点	1	6	30%
49点	1	7	35%
48点	1	8	40%
47点	1	9	45%
46点	1	10	50%
45点	1	11	55%
40点	1	19	95%
39点	1	20	100%
...			
合計	20	20	

# .....法学検定試験の実施状況.....

2003年に実施しました法学検定試験では、26,769名の志願者がありました。

●2003年法学検定試験の志願者・実受験者・合格者一覧

	志願者数	実受験者数	合格者数	合格率
4級	6,422名	5,593名	3,518名	62.9%
3級	9,939名	8,698名	4,720名	54.3%
2級	3,187名	2,794名	458名	16.4%
法学既修者試験	7,221名	6,320名		

\*4級は合計得点36点以上, 3級は一般コース同43点以上, 司法コース同43点以上, 行政コース同42点以上, 2級は全コース同31点以上を合格と判定。法学既修者試験はスコアのみ通知。

## 法学検定試験委員会事務局

<http://www.jlf.or.jp/>

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-9-10

茅場町ブロードスクエア2F

TEL03(5614)5636 FAX03(5643)7186